

神田康範のコメント

この度、九州アジアリーグの CMO 及び役員を退任することになりました。少し振り返ってみますと、リーグ立ち上げは雲をも掴むような感じでした。リーグもチームもないところからのスタートでした。KPB Project 株式会社を 2019 年 11 月にとりあえず立ち上げて、九州のいろんな方にチームを立ち上げないかと言うプレゼンをして回り、唯一初年度手をあげてくれたのが B リングスの森社長でした。その後、KPB Project 株式会社を熊本球団の運営会社にするに決め、リーグの会社は別に立ち上げることになりました。実は、KPB Project 株式会社は立ち上げ当初はリーグとチームの両方の母体だったのです。最初のシーズン終えた後、ホリエモンさんから連絡を頂き 3 球団目として今の北九州下関フェニックスが立ち上げて頂き、更にその後は JCI（青年会議所）を通して宮崎の方が参入検討をしたいとアプローチして来てくれました。これが後の宮崎サンシャインズです。その後、佐賀ドリームスも準加盟して下さり順調にリーグは成長しています。そして何より、リーグの社長である徳丸さんがとてもバランスよくまとめ上げてくれています。少し不安定だったリーグが徳丸社長の経営で『見える化』され良い方向に進んでいます。チームが増えてガバナンス統制も難しい中、昨年も何とか黒字化を実現してくれています。今後も徳丸社長を中心にリーグが発展して行くものと確信しています。まだ成長可能性のあるリーグです。CMO を拝命してからは、ロゴの変更や株式会社化などうまく行ったこともありましたが、最大のミッションであった東アジアとの交流については道半ばでした。ただ、台湾や韓国へのコネクションは確立できているので、今後徳丸社長や 4 人の役員の方々が協力してその道を切り開いてくれると思います。

4 年半本当にありがとうございました。全チームが地域に愛される、永続的に残っていく『公共財』となる事を願っております。 Best of Luck !

